

令和6年度 第2回ゼロカーボン研究会 事後調査報告

1. 調査概要

1.1. 目的

ゼロカーボン研究会に参加する自治体及び事業者等の研究会へのニーズを調査・分析し、岡山連携中枢都市圏、周辺自治体、事業者及び大学等と「ゼロカーボン社会」実現へ向けた“実現可能な事業創出”につながる研究会及び分科会を開催することを目的とする。

1.2. 実施日

2024年9月26日(木) 研究会終了後

1.3. 調査対象

令和6年度 第2回ゼロカーボン研究会の参加者33名（自治体13名、民間事業者・その他20名）を対象にアンケート調査を行った。

1.4. 調査方法

アンケート形式は、用紙記入、web記入の回答方法とした。

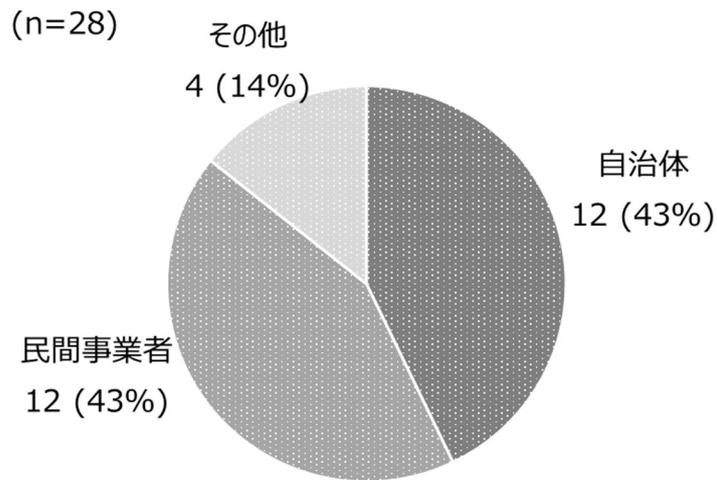
1.5. 回収状況

回答数：28件（自治体12件、民間事業者・その他16件）

回収率：85%（自治体92%、民間事業者・その他80%）

2. アンケート結果

1) アンケート回答者の所属区分

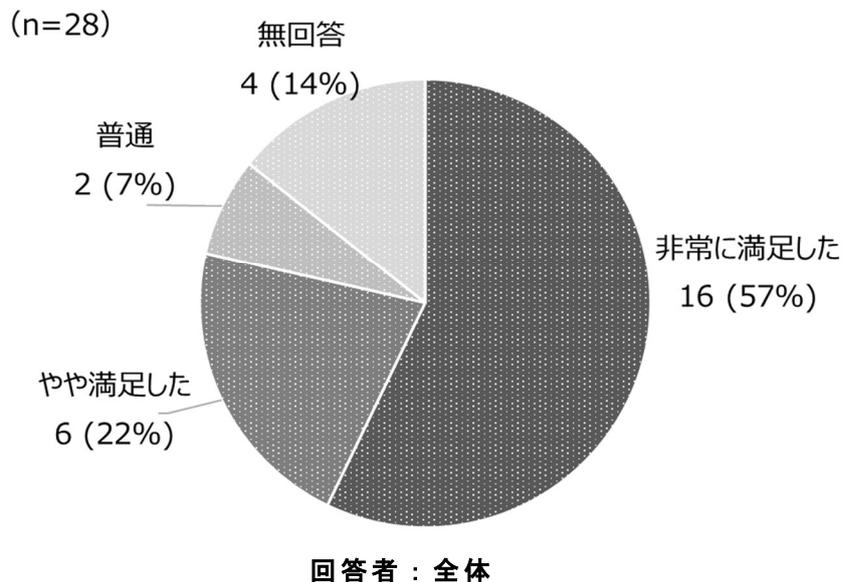


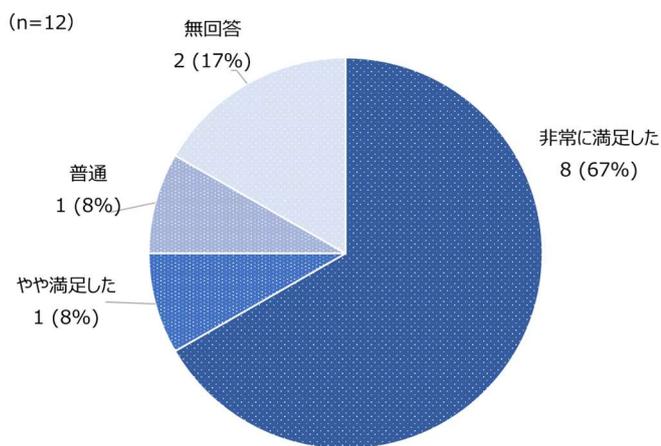
【その他の内容】

- ・ 環境省（3件）
- ・ NPO（1件）

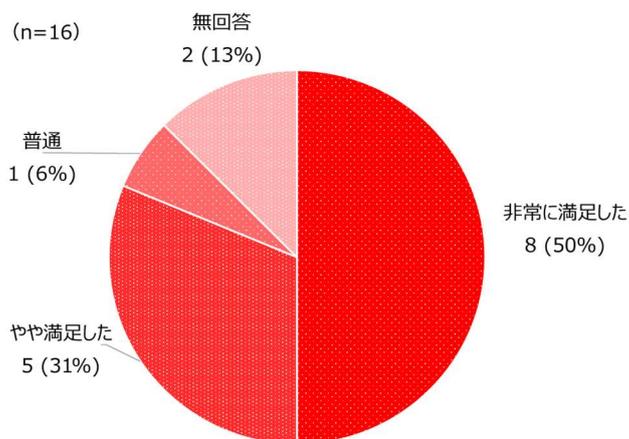
2) 今回の研究会に対する満足度を教えてください。

- 全体の満足度は「非常に満足した」が最も多かった。また、79%が満足したと回答した。





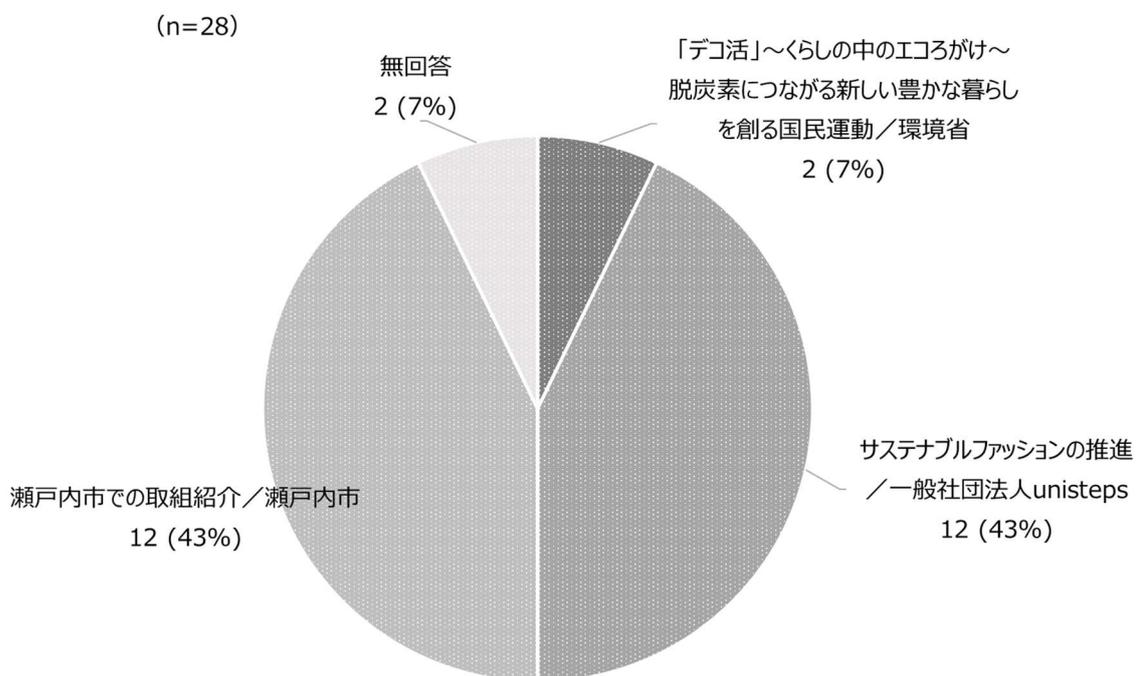
(満足度) 自治体



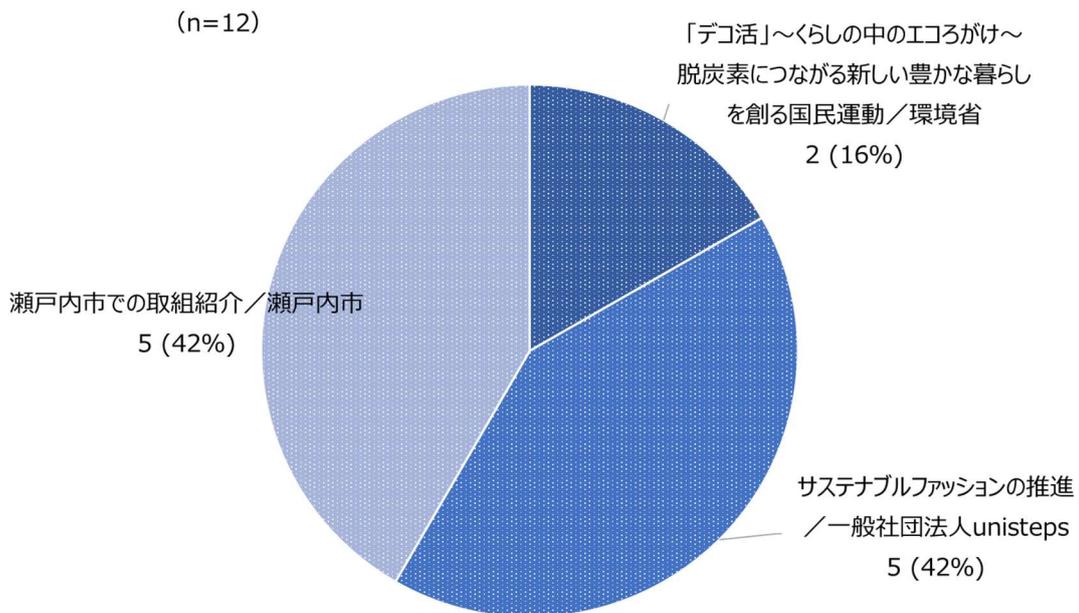
(満足度) 民間事業者・その他

3) 最も参考になった講演内容を選択してください。

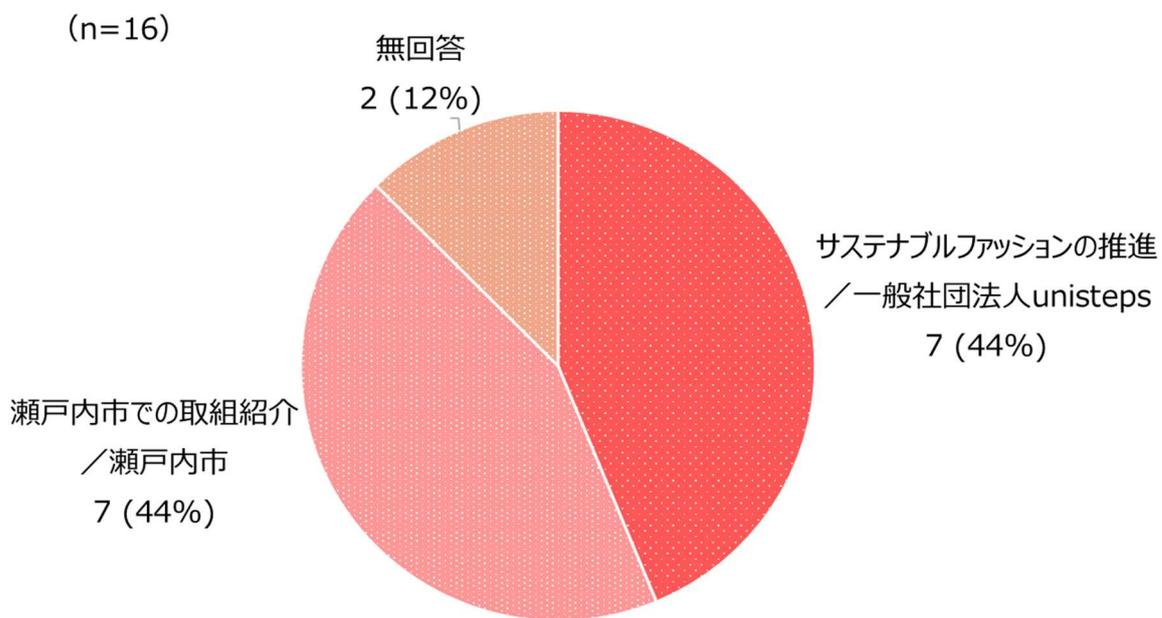
- 全体、自治体及び民間事業者・その他の回答において、「サステナブルファッションの推進」と「瀬戸内市での取組紹介」が最も多かった。



回答者：全体

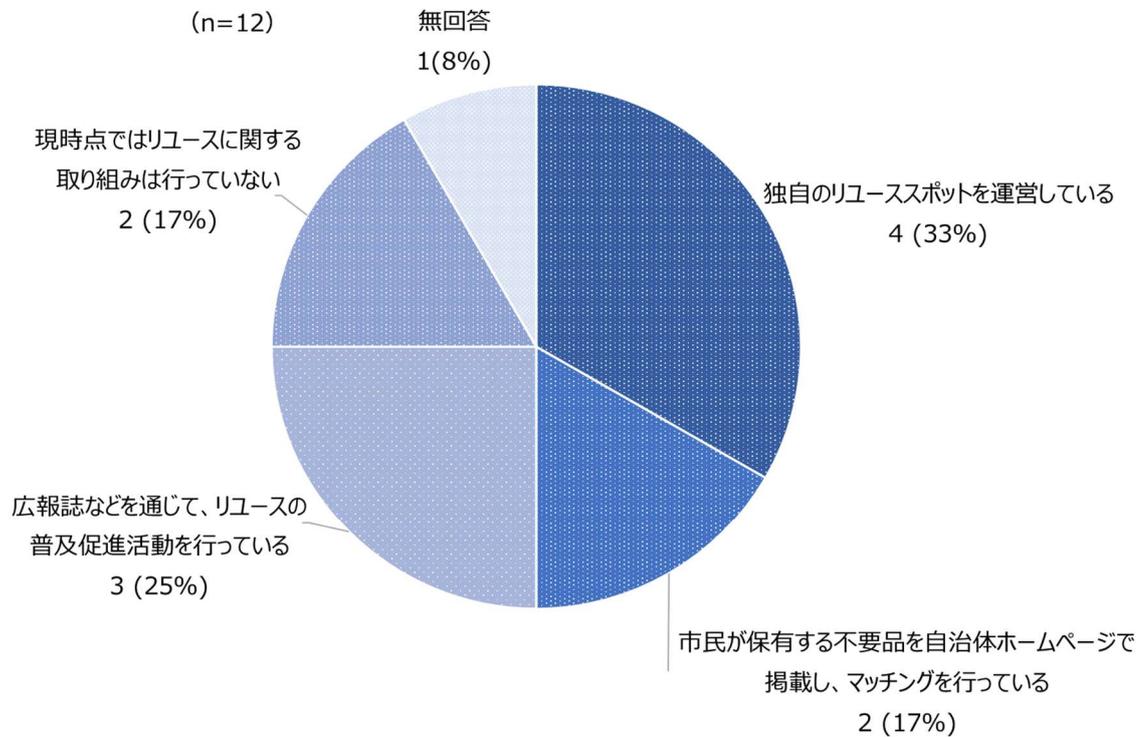


回答者：自治体



回答者：民間事業者・その他

4) 自治体のみなさまにお伺いします。貴自治体で現在行っているリユースに関する取り組みについて、最も該当するものを1つ選択してください。



5) 今後の研究会で取り扱ってほしいテーマやその他、ご意見・ご感想などあればお聞かせください。また、自団体で脱炭素化に向けて行っている取り組みについてPRしたい内容などございましたらご記入ください。

- “サステナブルファッションの推進”についてや、“瀬戸内市さん”の取組、非常に興味深くお聞きしました。アースキーパーユースチームを担当していますので、またご協力できることがありましたらお声がけください。自治体で現在行っているリユースに関する取り組みについて、県立学校の災害備蓄品のリユースができる場があればいい。
- 古布のリサイクルの多くが海外へ流出していることを初めて知りました。非常に勉強になりました。
- 個々の会社でのカーボンニュートラル取組状況や方法等、今後の見通し等
- ・個人単位で出来るゼロカーボンへの動き・上記にともなう企業の取組み（主に再エネ関連で）
- デコ活（2回目）
- 勉強会だけでなく食事をしながらの交流会などもあればより幅広い情報交換ができ

有難いです。本日の研究会は大変勉強になりました。今後ともよろしく願いいたします。

- PPA、リースによる再生可能エネルギー導入手法紹介
- サーキュラーエコノミー（既出であればご放念ください）
- 瀬戸内市さんのような取組事例の紹介をもっと聞いてみたいと思いました。
- サステナブルファッションについて詳しく聞いたことがなかったのでとても勉強になりました。
- 大変良い勉強になりました。ありがとうございました。
- 自治体の視点でファッションに係る脱炭素化が抜けていたので、とても良いお話を伺えたと感じました。市町村の取組、参考にしたい。デコ活、東京圏の取組に感じるので、地域での取組につながる形にしていきたい。
- 理解はできるけど、行動にはうつせない（＝社会実装（行動変容）が進まない）のはCNの課題であることを再認識できた。そういう意味で「CO2削減量」ではなく光熱費等削減額で表すことは良いと感じた。
- 官民共同という点では、PPPかPFIの官民連携のスキーム事例や研究ができれば、脱炭素領域での実践も生まれそうなので、次回以降取り上げていただきたいです。

以上